

指定管理者自己評価シート

I 基本事項

評価対象業務	大船渡市立図書館管理運営業務
指定管理者	株式会社図書館流通センター
指定管理期間	令和7年4月1日～令和12年3月31日
評価年度	令和6年度
人員体制	総括責任者1名 業務責任者1名 副業務責任者1名 職員6名 移動図書館車運転手1名
勤務状況	・休館日：毎週火曜日、12月29日から1月3日、 特別整理期間（蔵書点検） ・シフトによる交代勤務制 平日：8時30分から19時15分（2交代制） 土曜、日曜、祝日：8時30分～17時15分（2交代制）

Ⅱ 業務達成度の分析・評価

1 管理運営業務

項目	業務仕様	実施状況	自己評価
施設等の運営	(1) 運営全般業務	館運営、関係機関・団体との連絡調整、市への報告等適時対応した。	総合的な視点で適切に運営を実施した。
	(2) 庶務業務	OBIC 7 会計システム、OBIC 勤怠システムを利用し、各種帳票作成と庶務業務を行う。	各種システムの利活用、本社との連携により適正に実行した。
	(3) 窓口サービス業務	予約数 3,574 件 書架案内 652 件 資料検索 613 件 書庫出納 201 件 文献調査 27 件	利用者への日常的な貸出・返却対応に加えて、その要望を踏まえた予約及びレファレンス関連業務を行 った 。
	(4) 蔵書管理業務	資料の購入・除籍を年間計画に基づき、市の承認を得た上で計画的に実施した。 購入数：3,001 冊 除籍数：3,688 冊	購入資料（図書、雑誌、新聞）は、基本的に地元書店・販売店から購入している。除籍については、年間計画に沿って適切に処理を行い、書架環境の整備と資料の更新を行 った 。
	(5) 関係団体支援業務	市の各課と連携した各種図書展を開催。 学校図書館担当者に図書館情報を提供、移動図書館車運行や選書・配本、団体貸出を実施することで、学校図書館の蔵書を補完し、読書活動の支援・学習サポートを行 った 。また、図書支援活動地域ボランティア研修会に、スタッフを講師として派遣した。読書ボランティア各団体との情報交換に努め、その事業に必要な資料を提供した。	市の各課から多数の連携事業の依頼を受け、積極的に対応した。これらの事業を通じて、市民が市の施策をより深く理解する機会を提供し、地域全体の施策浸透に貢献した。 また、学校関係者からの所蔵調査や貸出依頼件数は増加傾向である。 さらに、今年度新たに高校生のインターンシップを受入れを行い、キャリア体験の機会を提供した。

	(6) 読書活動推進に関する業務	各種図書館イベント（催事、展示会等）と連動した読書推進活動を実施した。	市立図書館の基本業務のひとつとして年間 25 件の企画展示を実施し、利用者アンケート等でも高い評価を得ている。さらに、新たに市民参加型の展示を導入したことで、利用者間の交流を促進することができた。 また、未就学児、小学生、高齢者など、幅広い年代を対象としたイベントを開催し、図書館利用の活性化にもつながった。
	(7) 移動図書館車の運行业務	貸出人数 1,624 人 貸出冊数 22,119 冊	幼保／こども園 5 校 小中学校 9 校 学童クラブ 2 施設 福祉系施設 12 施設 に定期巡回した。
	(8) 相互貸借業務	貸出 212 件、借受 212 件	相互貸借対象館と適宜連絡調整を行い、利用者の要望に沿うよう遅滞なく処理を進めた。
項目	業務仕様	実施状況	自己評価
自主事業等	読書の普及、振興に関する事業を積極的に企画・実施すること	南極観測隊経験者を講師に招いた講演会、絵本の複製画の展示等の子ども向けのイベントに加え、マネー講座、大人の塗り絵講座など、幅広い世代の図書館利用を促す企画を適宜実施した。	各イベントの事前申込・当日参加状況、実施後アンケート等を踏まえ、また外部との連携を視野に入れつつ、今後も図書館利用拡大に繋がる独自性のある事業やイベントを企画・実施していく。
項目	業務仕様	実施状況	自己評価
その他業務	(1) 施設の管理に関すること	市民文化会館指定管理者と連携協力し、戸締り、火気取り扱い、その他災害発生防止に努めた。	今後も市および市民文化会館指定管理者との連携協力体制を維持していく。
	(2) 設備及び物品の管理に関すること	館内設備、移動図書館車の維持管理を専門業者に委託した。 ・修繕工事の発生なし	市民文化会館指定管理者と連携協力し、左記施設の維持管理を適切に実施した。
	(3) 施設の警備に関すること	利用者の安全と施設を守るために、利用者が安心して利用できる環境整備に努めた。	閉館業務に於いては、施錠の確認、消灯、安全点検等を適切に行った。

	(4) 施設の防災に関すること	市民文化会館との合同消防訓練(火災)を2回実施した。	今後も大船渡地区消防組合指導による合同消防訓練、普通救命講習会を定期的に実施していく。
	(5) 業務報告及び各種調査回答	月次の利用状況を月例会にて報告提出した。また、四半期単位で収支概要を提出した。	市職員と連携協力し、適時各報告書等を作成・提出した。
	(6) その他管理運営に必要な業務	業務改善をテーマとした研修会、災害時安否確認訓練、安全運転講習等を実施。	ハード、ソフト両面で管理運営に資する研修・訓練を通年で実施できた。

2 指定事業

項目	業務仕様	実施状況	自己評価
児童向事業	・おはなし会 ・ブックスタート	・おはなし会：年間23回実施、参加者：子ども78人、大人65人 計143人 ・ブックスタート：年間12回実施、参加者：子ども103人、大人119人 計222人	関連ボランティア団体の協力で両事業共に実施することができた。両事業とも、幼少期における本との出会いとなる意義ある事業として継続実施していく。
一般向事業	・企画図書展の開催 ・おたのしみ親子劇場	・企画図書展開催回数：年間25回 ・おたのしみ親子劇場：12月8日開催、参加者：子ども46人、大人52人 計98人	市内関係団体と連携協力して企画図書展を開催した。親子で楽しめる大規模イベントについては、実施総括を踏まえ、目的に合ったイベントとしてブラッシュアップしていく。
運移行動事業図書館	・BM利用状況及び運行状況	年間利用者数：1,624人 年間利用冊数：22,119冊 年間巡回日数：141日 年間ステーション訪問件数：668件	随時運行ステーションの利用状況を確認し、半期毎に適正な運行スケジュールを検討・作成した。 2-3月の林野火災により3日間16ステーションの巡回中止の際は、SNSも活用しつつ、迅速・確実な連絡対応も行った。

業務達成度の分析・評価における総括	自己評価
大船渡市の管理運営に関する基本協定書、年度協定書、管理運営業務仕様書や関係法令等の基準を順守し、利用の公平性を確保するとともに、利用者が安心かつ安全に利用できる環境の提供を目的に、市民文化会館指定管理者と連携して施設や設備の維持管理に努めた。また、業務については、指定管理制度導入前の運用をベースに、現状を踏まえ、改善が必要と考えられる点については、適宜見直しを実施し、業務効率化を推進している。	適正に図書館運営を実施していると自己評価する。 施設管理については、今後とも市民文化会館指定管理者と連携協力して実施していく。

Ⅲ 利用者満足度の分析・評価

項目	実施結果等		
実施方法	利用者アンケートの実施（アンケート用紙の配布及び回収） 実施期間：令和 6 年 12 月 7 日から令和 7 年 1 月 19 日		
回答者数	117 件		
調査項目	評価	今回	前回
図書館の施設・設備	満足	46%	44%
	やや満足	23%	20%
	普通	18%	25%
	やや不満	7%	5%
	不満	5%	4%
開館時間（平日 9 時～ 19 時／ 休日 9 時～ 17 時）	満足	56%	51%
	やや満足	16%	15%
	普通	20%	26%
	やや不満	5%	7%
	不満	3%	1%
貸出期間（2 週間）	満足	38%	39%
	やや満足	16%	16%
	普通	25%	26%
	やや不満	9%	13%
	不満	10%	5%
貸出点数（本・雑誌等 10 冊まで／DVD 等 2 点まで）	満足	52%	54%
	やや満足	16%	14%
	普通	20%	27%
	やや不満	6%	2%
	不満	2%	1%
案内表示のわかりやす さ	満足	30%	29%
	やや満足	20%	15%
	普通	33%	38%
	やや不満	10%	9%
	不満	6%	5%

調査項目	評価	今回	前回
目的の本や雑誌等の 探しやすさ	満足	25%	26%
	やや満足	19%	15%
	普通	34%	36%
	やや不満	13%	17%
	不満	9%	5%
職員の対応や説明	満足	49%	49%
	やや満足	21%	25%
	普通	26%	22%
	やや不満	1%	2%
	不満	0%	1%
図書館のすごしやすさ	満足	49%	43%
	やや満足	25%	28%
	普通	15%	19%
	やや不満	6%	5%
	不満	4%	4%
予約・リクエストサー ビス（希望する本がな い時、他の図書館から 借り受けるなどして 用意するサービス）に ついて	満足	29%	35%
	やや満足	16%	16%
	普通	30%	29%
	やや不満	3%	0%
	不満	1%	1%

主な意見・要望等	対応状況等
施設の構造的課題は継続的に指摘されている。 案内表示については前回同様、改善効果がでて いるとの評価を得た認識。	施設の構造的な課題は受け止めつつ、現場対応 可能な範疇について対応を継続していく。

利用者満足度の分析・評価における総括
図書館が「本を借りる」ニーズに加え、利用者の居場所として「すごしやすさ」がより求められて いる現状認識である。今後も引き続き多様な利用者ニーズを踏まえ、適正な運営を継続実施し ていく。貸出期間・冊数についての要望の推移は継続して着目し、確認対応していく。

Ⅳ 収支状況の分析・評価

【収入の部】

単位：円

科目	予算額	決算額	決算額－予算額
指定管理業務受託収入	47,500,000	47,500,000	0
指定管理外収入	10,000	31,170	21,170
収入合計	47,510,000	47,531,170	21,170

【支出の部】

科目	予算額	決算額	決算額－予算額
人件費	27,782,000	29,598,807	1,816,807
消耗品費	700,000	645,122	▲54,878
旅費交通費	150,000	58,551	▲91,449
通信運搬費	385,000	206,599	▲178,401
賃借料	960,000	1,001,476	41,476
車両経費	510,000	425,518	▲84,482
資料費（図書）	5,500,000	5,504,953	4,953
資料費（新聞・雑誌）	810,000	842,992	32,992
資料費（視聴覚資料）	100,000	108,878	8,878
TOOLi 利用料	528,000	528,000	0
読書推進事業費	180,000	203,115	23,115
HP 開設・維持	500,000	465,520	▲34,480
自主事業費	450,000	199,495	▲250,505
修繕費	100,000	0	▲100,000
租税公課	3,100,000	3,392,355	292,355
管理費	5,755,000	4,349,789	▲1,405,211
支出合計	47,510,000	47,531,170	21,170

【繰越金】

科目		前年度までの繰越	今年度の繰越	次年度への繰越
繰越金		0	0	0
収支状況の分析・評価における総括				
収入	ほぼ当初計画での収入額となる。			
支出	支出科目による予算額と決算額の差異について、科目ごとの支出状況を精査し、予算額と決算額の整合を図るよう引き続き計画策定・執行していく。			
繰越金	なし。			